

平成29年度第1回石狩海浜植物保護センター運営委員会議事録

◇日 時：平成29年8月8日（火） 14時00分～16時00分

◇会 場：石狩市役所5階 第二委員会室

◇出 席：松島肇（会長）、安田秀子（副会長）、高瀬たみ、北條静香、後藤芳子

事務局：新関正典（センター長）、宮原和智（主幹）、木本明美（主査）、高橋恵美（技師）

◇傍聴者：2名

◇議 題

1. 平成28年度活動報告について
2. ハマナス再生プロジェクトについて
3. その他

◇議事

【松島】

それでは今年度第1回目の運営委員会を開催いたします。

はじめに議題1、平成28年度活動報告について事務局のほうから説明をお願いいたします。

【事務局】

（資料1の説明）

補足

4 ページ ハマナスヘルシータイムの4回目より石狩天然温泉番屋の湯の協力を得て
参加者には当日入浴券を提供

5 ページ H28年度の石狩海辺の風景写真コンテスト受賞作品については札幌市が開催
する『いいとこ撮北海道2017 フォトコンサミット in Sapporo』に9月8日～
11日出展

【松島】

ありがとうございました。

ただいまの報告について質問・ご意見、修正などありましたらお願いいたします。

【安田】

1 ページ目のハマナス再生プロジェクトについて「はまなすサポーター」に含まれている研究機関とはこういった機関なのでしょうか。

【宮原】

過去に再生園を作る際に、デザインの案や知識をお借りした大学のことを含めて記載して

います。

【安田】

現在のはまなすサポーターとして登録している方と違うのではないのでしょうか。

【宮原】

そうですね。現在の再生園を維持・管理している意味合いのサポーターさんとはまた異なります。ただ、今後再生園を維持・管理していく中で知識をお借りする場合がありますのでサポーターとしております。

【松島】

平成28年度のハマナスサポーター登録数にありますサポーターさんと、安田さんからご指摘があったサポーターとは区別があるのでしょうか。表記にはハマナスがカタカナとひらがなで異なる表記をしているのでしょうか。

【高橋】

ハマナスサポーター登録数というのは保護センターでハマナスの苗を提供する際に、サポーターに登録をすることで苗を渡しています。最終的に再生園へハマナスを返してほしいという意味がありサポーターという形で呼ばせていただいています。サポーターに登録した方には事務局からイベントの周知をメールで配信しています。現在のサポーター登録している方の多くは一般市民がほとんどです。ご指摘のあった表記について差異はありません。

【松島】

かなり広い範囲の意味でのサポーターということですね。

【宮原】

年々再生園の対応の仕方が変わっていく中で、サポーターも変化しているということだと思っています。

【松島】

ほかには何かありますでしょうか。

私が気付いた点で、11ページの環境保全学会とありますが景観生態学会の誤りだと思います。

【高橋】

景観生態学会のシンポジウムのことです。訂正いたします。

【松島】

確か保護センターが共催という形で開いたので、そういった項目の方が適しているのではないのでしょうか。

【高橋】

現在、団体施設利用に含めているので、自然教室等の事業として加えたほうが適切ですね。

【松島】

主催のイベントや、共催のイベントが分かるような表記をしていただければと思います。
また、入館者数のグラフですが、同じようにHPの閲覧者数もグラフ化していただけると前年度の比較等分かりやすいのでお願いしたいです。
ほかに質問等ありますでしょうか。

【北條】

5 ページ目のパンフレット配布ですが、どのくらい配布しているのでしょうか。

【高橋】

大まかな数で申し訳ないのですが、7月30日は利用者が少なく30枚程度の配布だったように記憶しています。8月7日は利用者がとても多く150部以上配布したと報告を受けています。

【松島】

確か、ファンクラブさんのほうで正確な数をブログで更新していたように思いますので、そちらをご覧くださいいただければ出ているかと思います。

【高瀬】

出前講座に出ているフィールドビンゴというのは具体的にどんなことをするのでしょうか。

【安田】

環境教育で実際にフィールドビンゴをしているのですが、ネイチャーゲームの一つで、ふつうのビンゴの数字部分に野外で見られる形や色など注目してみてほしい特徴を書いています。それを元に子どもたちに探して興味をもらう目的を持っています。

【高瀬】

どのくらい時間をかけてるのですか。

【安田】

はまなすの丘公園であれば散策しながら30分程度ですね。ビンゴをもとに海浜植物の特徴などを学んでもらっています。

【松島】

解説だと聞くだけで受身になりやすいですが、フィールドビンゴだと能動的で自分たちから探しに行くのですごく良いゲームだと思います。

ほかに質問等がなければ次に進みたいと思います。議題2、ハマナス再生プロジェクトについて事務局のほうからお願いいたします。

【事務局】

(資料2の説明)

【松島】

ありがとうございました。事務局の説明についてご質問等ありましたらお知らせください。

【高瀬】

石狩さけまつりに合わせて、はまなす広場が開催されるということですが、さけまつりの実行委員会について観光協会から連絡等はありませんでしたか。昨年度のさけまつり実行委員会での反省で、同じ日に開催しているのでぜひ連携してはと話してありました。

【宮原】

市役所の方にはその話は来ていないので、確認してみます。観光協会としてどういった考えがあるのか、はまなすフェスティバル実行委員会としてもどういった参加をするのかも確認してみないといけないので後ほど確認していきたいと思います。

【松島】

ありがとうございました。その他ご質問などありますでしょうか。

【後藤】

昨年度は開催日をさけまつりの参加者数が多い日曜日にしていたのですが、今年度は土曜日に開催するのでしょうか。

【高橋】

昨年度に日曜日に開催した結果、そこまで集客数はかわらないのではということで今年度は土曜日に戻させていただきました。今年度は土曜日が祝日でもあり、保護センターのイベントも予定してありますので、今後はまなすフェスティバル実行委員会内でも検討してい

きたいと思います。

【松島】

ありがとうございます。ほかにありますでしょうか。

【後藤】

1点訂正をお願いいたします。ホコノンの説明でハンドクリームとなっておりますが、全身使える保湿クリームです。

【宮原】

すみません、訂正させていただきます。

【高瀬】

先ほどの続きなのですが、さけまつりのチラシが札幌圏に配布されます。そこにはまなす広場を入れていただきたいのですが、ということで観光協会に話をしております。

【安田】

サケに関していない内容でも可能なのでしょうか。

【高瀬】

資料館もサケとは直接関係のない内容で出店をしているので問題ないかと思います。

【新関】

その点を含めてこちらで確認させていただきます。ただ、観光課や観光協会がどう本町地区をPRしていくかがありますのでその点も含めて確認しておきます。

【安田】

再生プロジェクトで花びらを採取しているしている団体はどの程度摘んでいるのでしょうか。

【高橋】

昨年度ですが、土倉さんは10kgとっているという報告を受けています。今年度も同様の花びらを採取したいという希望を聞いております。ただ今年度は人員の関係もありどの程度つめたのかは把握しておりません。土倉さんはハマナス緑茶を中国に輸出しているという話もありますので、販売は続けていくという考えはあるかと思います。セントモニカさんに関して昨年度はあまり採取していないという話でしたが、今年度は新しく商品を製作するので多く採取するという報告を受けました。後藤商店さんもそこまで多くの花びらは摘

んでいないですね。やはり花びらをとる側がどこまで人員を当てられるかによって採取量が大きく変わります。一番多くとっているのは土倉さんですね。

【安田】

後藤商店さんとしてはどの程度採取したのでしょうか。

【後藤】

目標としては1kgとるようにと考えておりましたが、なかなか摘むことが出来ませんでした。本来は新しい商品を考えようと思っていたのですが。材料として確保しておかないと商品開発が出来ないので花びらを冷凍で取っております。

【安田】

多くの方が花びらをとりに来ていますが、そこまで花びらを取ってもあまりなくなっていないということですか。

【高橋】

基本的には同じ日に採取しないように事務局で調整しています。また、大量にとる場合には再生園内ではなく無事の民周辺で花の採取をお願いしています。再生園ではお客様が見に来たときに見られないという状況にならないようにもしています。

【安田】

無事の民のハマナスが足りないという形には今のところなっていないのでしょうか。

【高橋】

今のところはないですね。ただ再生プロジェクト自体が5年目を向かえ、今後どういった形をとっていくのかというのは課題としてあります。

【安田】

試供品としてのハマナスを提供なら分かるのですが、商品として販売するときは自分たちで花びらの確保を考えていくといやり方が必要になりますよね。当初の目標はそういった形だったと思います。

【高橋】

そうですね。今は花びらを採取するかわりに商品の提供や、イベントに協力してもらっています。ただ今後、より商品を増やして利益を生むとなると市の土地で花びらを採取して売るということは適切ではないのと、ほかの企業が参画したいといった場合どういった対応を今後していくかという点ははまなすフェスティバル実行委員会で話し合っていきたいと思

います。

【松島】

昨年度でもそういった話が出ていましたが、具体的に動きとして出ていません。この委員会でやるのかフェスティバル実行委員会でするのか整理する必要がありますね。それでは次に、その他へ進みたいと思います。事務局からお願いいたします。

【事務局】

その他ということで2点お話させていただきます。1点目に当委員会が今後こういった進めかたをしていくかということについて説明させていただきます。ご承知のとおり、この4月よりNPO法人いしかり海辺ファンクラブに業務委託をしております。本運営委員会の議題としてセンターの業務報告などが含まれていることから、委員としてファンクラブが入っていても問題ないのかというご指摘がありました。保護センターの市条例というもので当委員会が位置づけられています。ただ運営委員会は保護センターの年間計画だけではなく、海浜植物等保護地区の拡大など市の環境行政も含めた大きな計画もあります。そういったことを踏まえ、より多くの意見を頂くということでファンクラブも含めた運営委員会が構成される必要があると考えましたので、今後も現状どおり進めていきたいと思います。ただ、保護センターの業務内容などファンクラブが担う点についてはファンクラブから事務局からかわり報告していただくというように話を進めています。本委員会の最後にファンクラブから今年度の報告をしていただきますので、後ほどお願いしたいと思います。次に2点目として、次回の運営委員会について説明させていただきます。次回の運営委員会を10月中旬以降に開催を予定しています。委員の皆さんには9月中旬に日程調整を連絡したいと考えておりました。当初、事務局で次回の議題として保護センターの来年度の事業計画についてお話させていただき、意見を頂きたいと考えていました。予算の関係もあることから、意見を伺った後に計画に反映が出来ればと思っておりましたが、市の財政部局から9月上旬には予算要求の締切と急遽変更となりました。本来であれば委員の皆さんにご意見を伺う場を設けたかったのですが、今回は大枠が決まった中での情報共有という形になってしまうこととお詫びさせていただきます。

【松島】

ありがとうございます。何か質問等がありますでしょうか。よろしければ、今年度の報告としてファンクラブより石井さん報告をお願いいたします。

【石井】

本来であれば理事である石山より報告させていただくのですが、業務のため代わりに説明させていただきます。4月中旬より業務を委託しまして、結果という形が出ていない中ですが、今年度より開始した新規事業について説明させていただきたいと思います。私どもが業

務を委託するにあたって、こういった目的を持って保護センターを運営していくかという話をしました。理事等で話あった結果、『また来たくなる保護センター』ということを目指しに今年度は新規事業を3つ企画しました。(資料参照)

1つ目に通信はまぼうふうを過去3回作成していたものを、毎月発行という形にしました。2つ目に年間を通してイベントをする方がより呼び込みやすいということで30分という短い時間ですが毎週土曜日にツアーを企画しました。3つ目は、もともと夏休み期間の土日に企画していたクラフト体験を今年度は夏休み期間毎日実施し、土日は新たなイベントを設けて夏休みのイベントを充実させるということをしました。来館していただいたお客様には好評でした。大きな入館者数についてはまだ出ておりませんので、今後お話ししたいと思います。

【松島】

ありがとうございます。ただいまのご説明含めて、全体を通して何かありますでしょうか。

【高瀬】

各種イベントについてですが、こういった広報をしているのでしょうか。

【石井】

通信や広報いしかりでお知らせはしております。ただ、この広報についてはまだまだ課題があるのが事実です。参加者に繋がっていないので、今後考えていく必要があります。

【安田】

今年度より通信を毎月発行していますが発送など過去と同じようにしているのでしょうか。

【高橋】

今年度は市から発送しておりまして、ファンクラブから発送してほしいという要望のあった施設に配布しています。例えば手稲区役所や豊平サケ科学館には毎月送付しています。また、はまなすフェスティバルなどの大きな行事がある場合は特別に植物に関わる施設にもフェスティバルの案内と一緒にまぼうふうも送付させていただいています。

【安田】

博物館活動センターや環境プラザなどには送っていないのでしょうか。

【高橋】

博物館活動センターはファンクラブから特別お願いはされていないので、お送りしておりません。環境プラザは毎月50部ほど発送しています。

【石井】

確か博物館活動センターは近郊のお客様が多いという話から配布リストからはずしました。

【松島】

イベントに関しては北海道環境財団のメーリングリストなどに情報を出したりする方法があります。保護センターのホームページは少し見難いかと思いますが、この所管についてはどちらでしょうか。

【石井】

市が管轄しています。

【松島】

終わった内容など消してしまえば、少し見やすく整理されるかと思います。見やすいものがあれば様々な機関にリンク付けでお伝えしやすいと思います。

【石井】

はまぼうふうはファンクラブのホームページでもアップしているので、そちらを見ていただいてもよいかと思います。

【安田】

ウオッチングガイドなども利用できないのでしょうか。

【石井】

その都度、ウオッチングガイドに連絡が必要なので手間がかかってしまいます。

【安田】

子ども自然教室での話で、今年度の土日のイベントに関してはなかなか集客に繋がらないことが多くありました。その点について課題が多くありました。

【石井】

新しい試みなので、どうやってPRして広めるかということが今後課題になっています。

【松島】

ありがとうございます。ほかにありますか。

【高瀬】

ファンクラブのイベントの中で歴史を学ぶことも入れていただくことは出来ないでしょう

か。

【安田】

観光センターや観光協会がボランティアガイドのPRをしていないので、する必要はあるかと思います。

【松島】

ファンクラブさんが委託をしていく中で、今後歴史と自然を含めたイベントを企画しやすい流れになっているのではないかと思います。今後、外来種駆除という形で本町地区の方を交えての除草作業など学生を連れてやりたいなと個人的には思っています。

【高瀬】

最近は運上屋をきれいにしたので、多くの方が資料を提供してくれるようになりました。そういった中で運上屋も保護センターと関わっていければよいと思います。

【松島】

そうですね。今後そういった活動が出来るようになればいいと思います。それでは時間になりますので、事務局にお返しします。

【新関】

本日は長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございました。本日の議事録につきましては、会長に確認後、各委員にお配りしたいと存じます。また、本日の各委員のご意見につきましては、今後の保護センターの運営に活かしていきたいと考えておりますので、今後とも、お気づきの点がありましたら、随時、事務局のほうまでお寄せください。これで第一回運営委員会を終了いたします。ありがとうございました。

議事録を確認しました。

平成29年8月21日

石狩浜海浜植物保護センター

運営委員会会長 松島 肇